

# 宇土市ファミサポ通信 No.25

令和5年11月発行



秋晴れの心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃よりファミリーサポートセンター事業にご理解・ご協力に心より感謝しています。新型コロナ感染症も徐々に落ち着き、おかげ様で会員数も増え、援助活動も昨年度よりは倍近くになっています。皆様にファミリーサポートセンター事業を知っていただいていることを嬉しく思っています。

さて、子育てに休みがないお母さん達は『自分の時間が欲しいなあ』と思っている方が多いのではないのでしょうか。そんな時にファミリーサポートセンターを利用されてみてはいかがでしょうか。子育てのベテラン協力会員が、子育ての困り感を解消してくれます。ファミリーサポートセンター事業をもっと多くの方に知ってもらい、子ども達と子育て中のお父さん・お母さんの幸せな笑顔を、協力会員とアドバイザーは楽しみにしています。宇土市ファミリーサポートセンター事業の事務局は児童センターの2階にあります。まずは登録にお越しください（要予約）。お待ちしております。

援助活動で子どものお世話をしてくださる協力会員さんはどんな方だろうと不安を感じる依頼会員さんも多いと思います。協力会員になるためには3日間の養成講座の受講が必要です。その養成講座が8月に行われ、『身体の発育・子どもの世話』・『子ども栄養と食生活』・『障がいのある子どもへの理解』・『心の発達とその問題』・『保育の心・子どもの遊び』・『児童虐待・里親に関する講座』・『子どもの応急手当』・『子どもの病気と健康管理』・『協力会員の業務内容』の9講座を受講していただきました。新規・スキルアップの協力会員さん達はとても熱心に受講され、新たに4名の方が協力会員になりました。とてもありがたく嬉しい限りです。ますます援助活動がマッチングしやすくなりました。そんな心強い協力会員さん達ですので、安心して預けることができますよ。

## 養成講座の様子



## 活動の紹介

お母さんの通院・姉弟  
の行事のための預かり

もぐもぐ  
美味しいね

宇土市ファミリーサポートセンターは子育て中の方々に事業をもっと知ってもらおうと6か月健診時に広報活動を行っています。広報で知ったお母さん方が依頼をされるようになり、2歳未満の活動が増えてきました。引き受けてくださる協力会員さんも私たちアドバイザーも、子どもさんの可愛さに癒されて、またお母さんの笑顔に喜びを感じています。



このおもちゃ  
たのしい～！



邦楽活性化事業の一環で3人の琴奏者が、“親子で一緒に日本の音を楽しもう”と児童センターを訪れ、演奏会が行われました。ファミリーサポートからも依頼会員の親子が参加し、6か月から3歳までの親子が目の前で琴の演奏を楽しみました。お母さん・お父さん達はなかなか見られない演奏を聞きながら、お子さんと一緒に琴の音色と音の余韻を体感されていました。子ども達にとっては初めて見る琴と音色に、目を丸くして身動きせずに聞いていました。その様子に3人の奏者も感激されて涙される場面もあり、感動の素晴らしい演奏会でした。

依頼会員さんへ  
お願い

- ・活動前日に協力会員へ事前打ち合わせの電話連絡をお願いします。  
安全にお子さんをお預かりするには、前日の事前打ち合わせがとても大切です。活動の確認、お子さんの体調、準備物などをしっかりと話し合ってください。
  - ・開始時間と終了時間は必ず守りましょう。  
終了時間前にはお迎えをお願いします。急な時間延長は早めにファミリーサポートセンターに連絡をお願いします。
- ※会員同士のより良い関係をつくるためにも、ご協力をお願いします。